

名勝天竺須佐灣圖繪  
紀念物



松  
仙  
須

須佐湾全景図



鳥居



松江

大社

濱田

黄帝社

瑞林寺

神山

益田

津和野

万角石

田方

龍宮

観音

黒岩

地ノ松島

龜頭

大越

中島

鹿渡

平島

水ヶ浦

唐船沈没所

依島

鶴崎

龜島

阿武浦

久原波止場

玉島

水海灣

海水浴場

法隆寺

須佐尊

聖岩

雄島

行者山

海士ヶ地

長磯

深々淵

金瀬崎

沖ノ松島

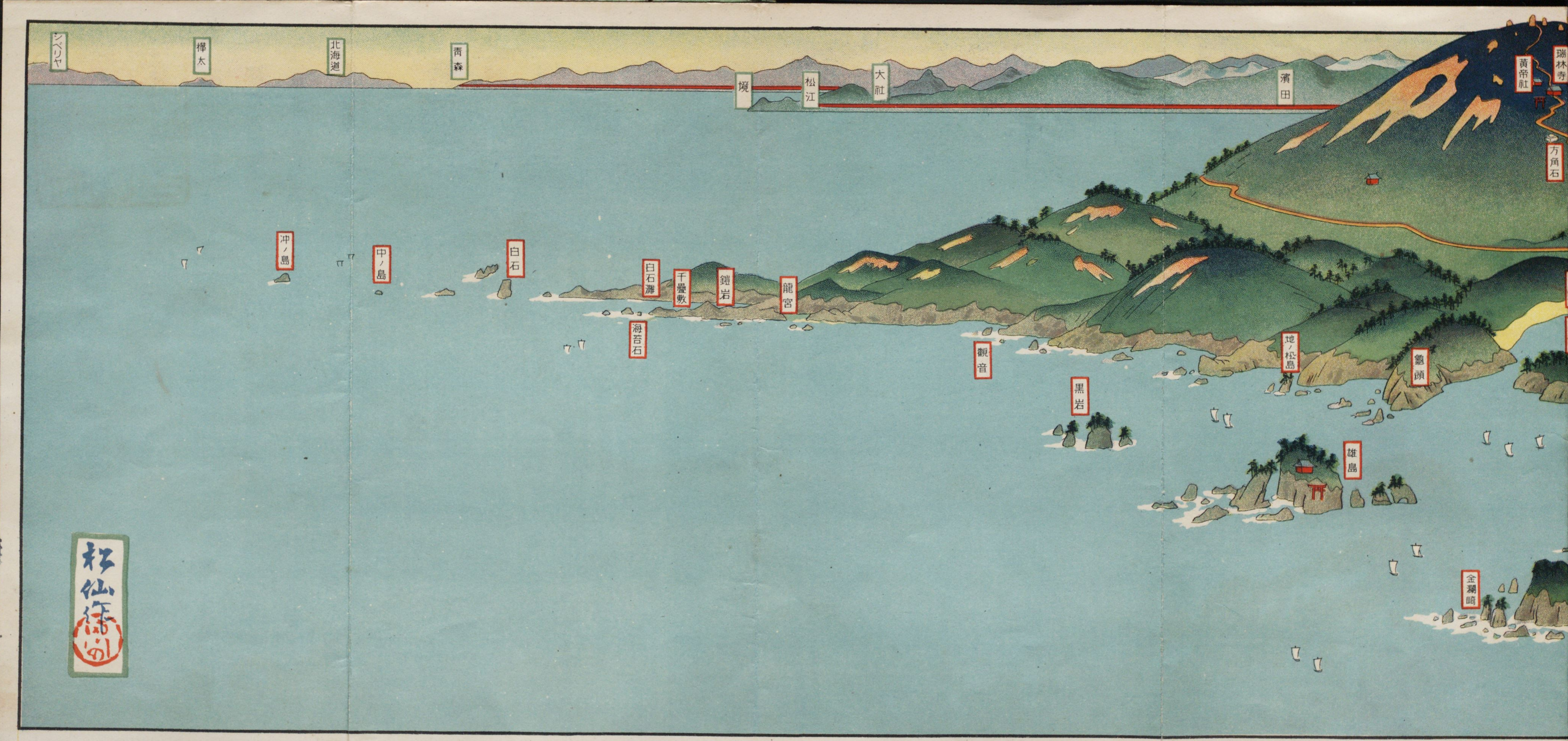
屏風岩

雙瀨灣

鏡山

青浦灣

海蔵所



シベリヤ

樺太

北海道

青森

境

松江

大社

濱田

瑞林寺

黄帝社

方角石

沖ノ島

中ノ島

白石

白石灘

千疊敷

鐘岩

龍宮

海苔石

観音

黒岩

地ノ松島

龜頭

雄島

金満崎

松仙傳



### 須佐湾勝景五絶

群巒自ら瑞峯「神山」を擁し直ちに海洋に迫り互に錯綜映發して壯麗比なし

- 一、湖沼の靜波 曲汀、灣更に灣を生み幽邃清婉靜波鏡を欺き、自ら湖沼の雅趣を呈す
- 一、關西の小松島 大小の島嶼奇松を戴きて葦布羅列し恰かも松島を見るが如し
- 一、斷崖と怒濤 壁立せる斷崖、錯落せる岩礁、狂瀾怒濤と相闘ひ眞に豪快を極む
- 一、地質學の寶庫 海内無比のホルンフェルスの大斷層を始めとして地質學上珍奇の寶料に富む

### △勝景巡り

#### 一、東巡り

水海。笠松山。赤島。久原波止場。玉島。龜島。鶴崎。平島。倭島。唐船打拂跡。鹿渡り。大越。中島。龜ノ頭。黒岩。地ノ松島。赤瀨。洞門。烏帽子岩。瀧洞。觀音岩。海苔石。龍宮瀨。鍛岩。兜岩。千疊敷。白石灘。(尾浦側) 白ヶ浦。引明ノ瀨。波里覽溪

#### 一、西巡り

水海。聖巖。青浦。雙瀨。海士ヶ地。長磯。雄島。金瀨崎。深瀨瀨。鼻面。釣瓶落。鍋島。屏風岩。沖ノ松島。談合岩。

### ▲勝景遊覽案内

本勝景ノ特色 此の灣が今回名勝天然記念物として内務省の指定を受ける事になった、抑々この灣景には五つの特色があるが就中一つの灣内に更に七つの灣があつて、恰かも湖水の感を呈して居る、灣口に横はつてある雄島を中心として奇松を戴いた大小幾十の島々が、到る處に散在して宛然松島の景を縮めた感のあること、更に灣外西方に突出する金井崎が、非常な鵝壁で青海島風の豪壯雄大な景を現出していること、この三つは彼の一代の畫伯高島翁の推賞されること、勝景中の勝景云ふべきである。

加之地質學の泰斗佐藤博士の踏査によればホルンフェルスの大斷層を始めとしてこの神山を中心とする地質第三紀層、沖積層及斑岩、石英斑岩、玢岩等から成つてゐる地質學上の参考資料の豊富なこと本邦第一の事である、此の點も亦本勝景の有力な特色の一つに數へる事が出来る。

探勝順路 此の勝景は灣の内外に亘つて水上陸上共に探勝が船によつて先づ東巡りに順路をとり次で西巡りに移るが最も都合である。

### 水海巡り

砂地で遠淺でもあり海水も奇麗で、灣内第一の好海水浴場である、毎年各地から來遊者が多い昔、須佐男尊が、出雲から朝鮮への往來に出雲の日ノ御崎から船を出されて神山を目標に此の灣内に碇泊された上、十分天候を見定められて朝鮮へ渡られたので以前は御津海と記された所である。此の地の須佐、神山などは何れも尊に由緒あり、此の外に尊にちなんだ地名も色々ある此所から見える南方秋に至る縣道の上方の山は舊領主益田公の御廟地のあること、笠松山と云ひその暮雪は十二景の一つに數へられてゐる。

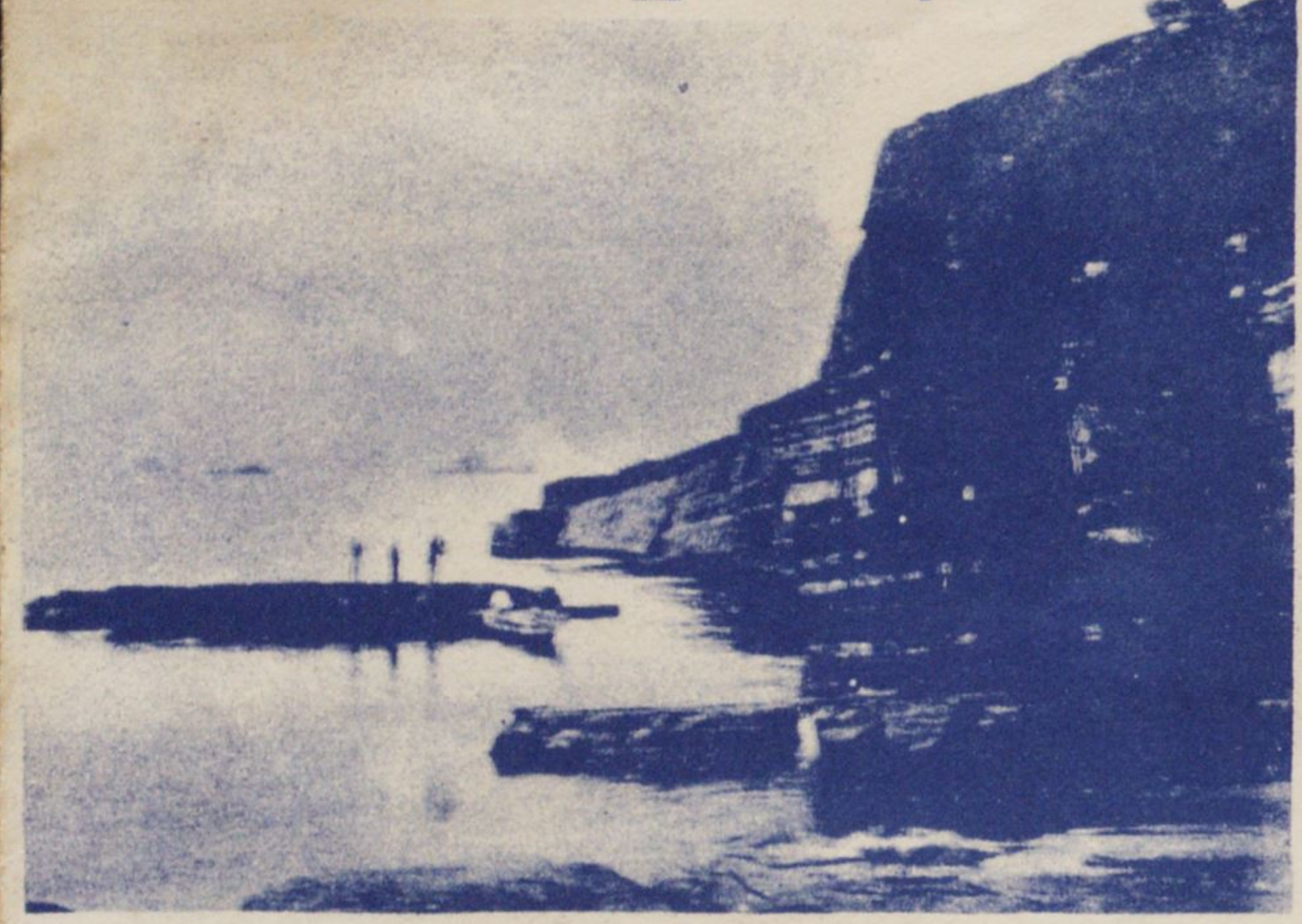
### 赤島

此の島には先年久原氏(本町出身現大阪實業家)が萬金を投じて本町發展のために築かれた波止場がある。その内は



大レスト層

千疊敷



玉島 須佐十二景の一つとして稱せられる玉島の夕照の景で此の島の稍々北方の路邊石採場には砂岩中に埋藏された牡蠣、海胆及木葉などの化石も出るといふ、波上に一段の眺めを添へて居る。龜島の遊魚、鶴崎の晴嵐は何れも十二景の一つである。

龜島・鶴崎 これは何れも陸続きの岩頭で其の名の如く首を伸ばした鶴に似て、波上に一段の眺めを添へて居る。龜島の遊魚、鶴崎の晴嵐は何れも十二景の一つである。

平島 唐船打拂跡——倭島——鹿渡り——大越

久原波止場の前方に横はる平らかな島で半玉を並べた頂に松の翠が調和よく、夜雨を添へて十二景の一となつてゐる。

此の島の東側の入江は享保の昔入港した外國船を打拂つた古跡である。倭島はこの島の南端に突出して俵を積み重ねた如き奇形をなし、地質學上見逃すこと出来ぬものである。平島は一見半島の様であるが實は此の鹿渡りの狭き瀬戸で分離してゐる昔は鹿が渡り遊んだといはれる。

中島 中島は此の邊から眺めて最も優麗で若松の茂みの間に隠れる辨天社通夜堂は鏡の様な碧海に倒影を寫してさながら一幅の畫趣を呈してゐる。辨天社は現今では須佐浦美須社に合併せられたが毎年七月十七八日の両日は宮島の管絃祭と同じく海上渡御の祭儀が行はれて賑かである。

久原波止場築造前は此處が帆船の泊り場、帆柱林をなすさいふ風であつた。このあたり赤島にかけて鯛漁が出来る。

龜ノ頭 この岬は神山を龜の脊と見て、恰かも首にあつてゐる龜の水の

亦本勝景の有力な特色の一つに數へる事が出来やう  
**探勝順路** 此の勝景は灣の内外に亘つてゐて水上陸上共に探勝が船によつて先づ東巡りに順路をこり次で西巡りに移るが最も好都合である

大 層 ト ー レ ス 大



**水 東 巡**  
 砂地で遠浅でもあり海水も奇麗で、灣内第一の好海水浴場である。毎年各地から來遊者が多い。昔、須佐男尊が出雲から朝鮮への往來に出雲の日の御崎から船を出されて神山を目標に此の灣内に碇泊された上、十分天候を見定められて朝鮮へ渡られたので以前は御津海と記された所である。

**赤 島** 此の島には先年久原氏(本町出身現大阪實業家)が萬金を投じて本町發展のために築かれた波止場がある。その内は内に入れば更に深い入江が、あつて俗に「船隠し」さか「油さか」云つてゐるが如何な大時化でも常に油を流した様に静かで全く池の感がある。こんな海は北海岸には無比であるこの航海者の歎稱は寧ろ當然であらう。この入江が近く養魚場になるのでうなれば遊覽地として、絶好である。

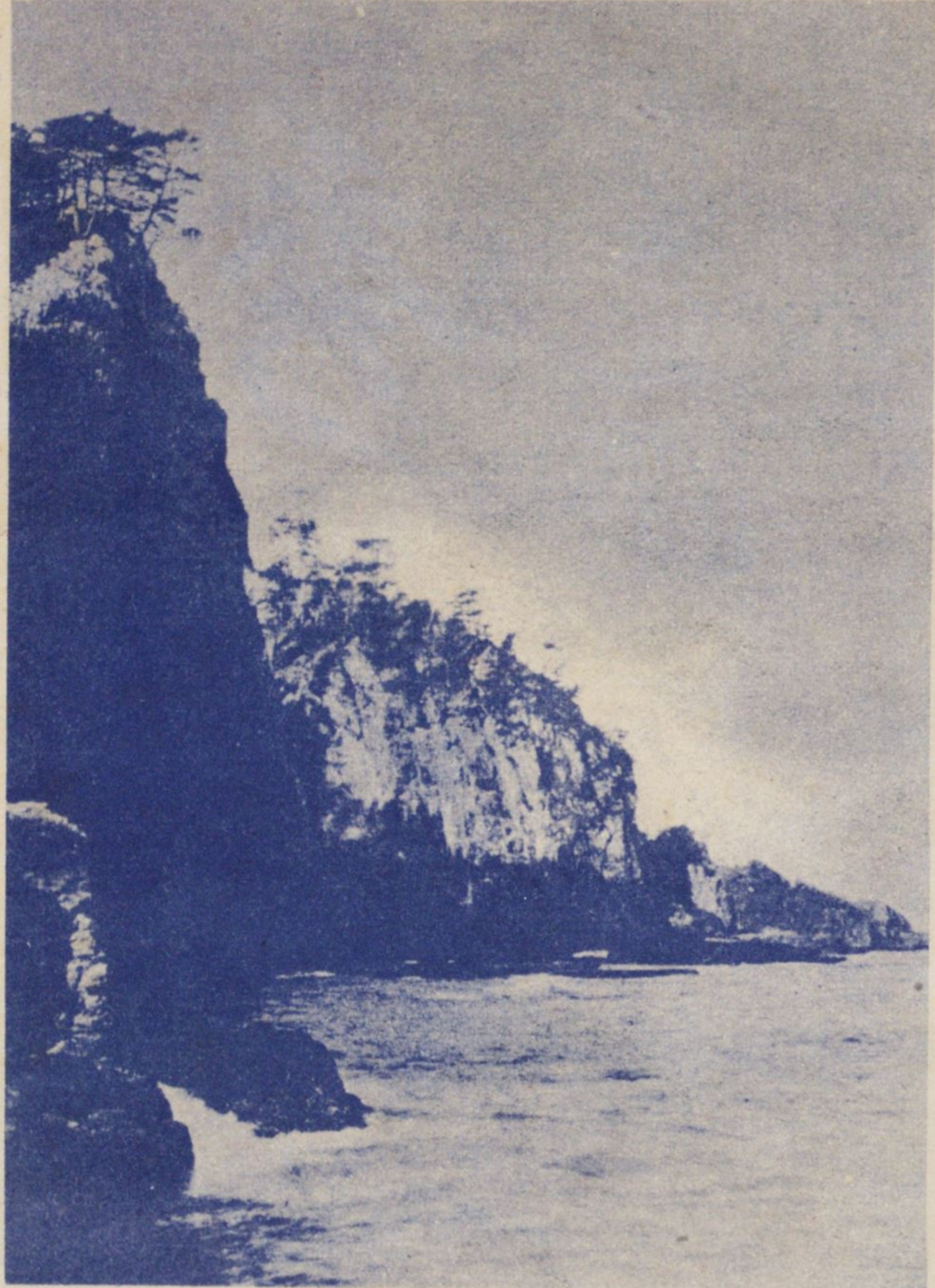
**玉 島** 須佐十二景の一つとして稱せられる玉島の夕照の景で此の島の稍々北方の路邊石探場には砂岩中に埋藏された牡蠣、海胆及木葉などの化石も出るとに似て、波上に一段の眺めを添へて居る。龜島の遊魚、鶴崎の晴嵐は何れも十二景の一つである。

千 疊 敷



**平 島** 唐船打拂古趾——倭島——鹿渡り——大越  
 久原波止場の前方に横ばる平らかな島で半玉を並べた頂に松の翠が調和よく、夜雨を添へて十二景の一となつてゐる。此の島の東側の入江は享保の昔入港した外國船を打拂つた古趾である。倭島はこの島の南端に突出して倭を積み重ねた如き奇形をなし、地質學上見逃すことの出来ないものである。平島は一見半島の様であるが、實は此の鹿渡りの狭苦しい瀬戸で分離してゐる昔は鹿が渡り遊んだといはれる。この入江の極つた所は所謂大越で落雁を以つて十二景に歌はれて居る。

屏 風 岩



**中 島** 中島は此の邊から眺めて最も優麗で蒼然たる老松の茂みの間に隱見する辨天社通夜堂は鏡の様な碧海に倒影を寫してさながら一幅の畫題を呈してゐる。辨天社は現今では須佐浦惠美須社に合併せられたが毎年七月十七八日の両日は宮島の管絃祭と同じく海上渡御の祭儀が行はれて賑かである。久原波止場築造前は此處が帆船の泊り場であつた。このあたり赤島にかけて鯛漁が出来た。

**龜ノ頭** この岬は神山を龜の脊と見て、恰かも首にあつてゐて龜の水をのむ形に似てゐる。

**黒 岩** 龜の頭を廻つて灣外に出ると北方海中に暗黒色の岩礁があるこれが黒岩で此處は魚釣りの好適地。

**地ノ松島** 十二景中の松島の白浪はこれぞ沖ノ松島に對して云ふ。

**赤瀬ノ洞門** 鳥帽子岩、澄り洞この邊は岩層を縫つて南帯植物の達磨菊が密生して秋の花時に美觀である。

**觀音岩** その形が觀音の座像に似て高サ數十間の礫岩が頗る雄大である。

**海苔石** 當町の名産神山海苔、須佐和布の産地であり尙冬季「ろや」釣りの好漁地として有名である。海苔、和布は風味も格別で京阪地方に於ても特に賞讃される。此邊は一帶の山裾で廣大な岩臺があり、紺碧の海と相和して偉觀である。

**龍宮瀧** 山裾の斷崖に懸つて海中に直瀉す。

**鏡 岩** 兜岩 一帶大スレート層で断面には

数百の層を見れば形や色も幾やで氣に凝土の層と打たれる。左葉層の底に

屏風岩



此の形に似てゐる。

**黒岩** 龜の頭を廻つて海外に出る。北方海中に暗黒色の岩礁がある。これが黒岩で、此處は魚釣りの好適地。  
**地ノ松島** 十二景中の松島の白浪はこれに沖ノ松島に對して云ふ。

**赤瀬ノ洞門** 鳥帽子岩、瀧り洞この邊は岩層を縫つて南帯植物の達磨菊が密生して秋の花時に美觀である。

**觀音岩** その形が觀音の座像に似て高サ數十間の礫岩が頗る雄大である。

**海苔石** 當町の名産神山海苔、須佐和布の産地であり尙冬季「くろや」釣りの好漁地として有名である。海苔、和布は風味も格別で京阪地方に於ても特に賞讃される。

此邊は一帶の山裾で廣大な岩臺もあり、紺碧の海と相和して偉觀である。

**龍宮瀧** 山裾の斷崖に懸つて海中に直瀉す。

**鏡岩** 兜岩

一帯大スレート層で断面には數百の層を現はし形や色も様々で真に豪壯の感に打たれる。佐藤博士の説に依ればこんな大規模の露頭は全く本邦無比でこの神山を形成して居る第三紀層中の班瀾岩によつて砂岩及頁岩が變質されて「ホルンフェルス」となつて居り、所謂「スレート」の大絶壁といふは實はホルンフェルスの大絶壁であるとのこと。

**千疊敷** スレート層の最も鮮明に現はれた所で側方に鮮やかな縞目を見せ古巖が數百間に亘つて頗る長く上面は二十度位の勾配を保つて頗る平坦廣瀆で大艦の巨體にも比すべきである。

**白石灘** この附近は神山岬の濱で白色を帯びた巨大な石塊が磊々散在し、近傍には、白石、黒瀨、黒岩などが浮んでゐる所謂鬚毛海苔はこの白石に産する見物を愈々人は先づ此の邊から「西巡り」に移るがよい然しゆつくり見物せうと云ふ人は更に神山岬を廻り尾浦に至れば勝地も少くない。

**白ヶ浦** 神山の東方山麓にある勝景。

**引明ノ瀧** 瀧が四層をなして下方に瀧壺のないさいふ珍奇なもの。

**波里魔瀧** 直徑數十間の大岩が錯落してゐる。

**西巡り** 西巡りから始める人には逆になるが東巡りを了へた人にはこゝから更に袖を返して須佐灣外西方金井崎から探勝を續けて、須佐に歸るが便利である。

**屏風岩** 沖ノ松島 談合岩

此の一帶は灣内の景の優麗で女性的なるに比し、斷崖五百尺にも及ぶ所があり北海の怒濤が岩壁を噛んで雪を砕いた壯觀を呈する所が豪壯な男性的の勝景である。岩燕を始め鴨、鶴など生棲し、冬季は鷺なども飛來して實に海の仙境である。

**深煙瀧** 鼻面 釣瓶落し 鍋島

斷崖壁立雄大の景である。釣瓶によく、特に冬季鼻面は「くろや」釣りの名所である其他釣瓶落しの奇岩、鍋島の珍島もある。

**金瀨崎** 所謂小松島で大小七十餘の島々があり、北海雷伯は青海島十六羅漢以上だま欺稱された地で岩質複雑で石脈の光彩千態萬狀で、島上古雅な蒼松が蟠り瑞峯神山は空に聳えて後を彩り呼べば答へん雄鳥眼前に横はり眼を轉ずれば海上模倣として水平線上に臥す見島も自ら視界に入る。海上一度風伯怒れば狂瀾激突の壯觀を演ずれば波靜かなる夕、夕陽金瀨を描き、實に變幻の妙趣を現はし灣内外の異景を伴出し得る絶景地とも云へる此處は陸からも行くことか出来るので探勝者の便利である。前方に見える神山は海拔一千八百尺、海中に突出する山としては日本海稀で此の絶頂からは東は出雲日之御崎から西は天津郡向津具岬、南は徳佐ヶ峯など望まれ雄大無限の眺めである。頂上には風穴磁鐵礦、頁石材其他地質學上の好資料もあり、古趾としては山腹に神山神社を始め宇治川の先陣に偉名を轟かした佐々木高綱の名馬池月を出したと傳へらる牧場もある。尙ほ中腹には禪宗瑞林寺及其境内に航海者の守護神「黃帝社」も祀られてあり遠近の來拜者多く眞に瑞峯とも云ふべきである。

**雄島** 俗語「須佐の入江の天神島は地から生えたか浮島か」にある如く天神島も云ひ大小島數四十八あることイロハ島も云ふ、元一つの島であつたものが波濤に蝕されてかくは分離したと云ふ。島中には或は洞門あり平坦なる廣場あり、貝類を始め海草も豊にして好遊覽場である。學術研究上貴重なセイルも見事な事が出来る。

**長磯** 陸続きで白砂長く海も浅く貝採り、魚釣のみでなく又海水浴にも適して居る。

**海士ヶ地** (蟹ヶ地) 十二景蟹ヶ地の歸帆で知らる。

**煙瀧** 恰も湖水の入江で「煙瀧の秋月」は十二景の一、この海邊を離る四五丁の山腹には三善清行の第三子淨藏大徳の遺跡がある。

**聖青浦** 老松岸邊に並び海水浴場で其の突端は魚釣、貝採によし。

**巖** 紀念碑 鮑の養殖場

須佐川河口、萩に通ずる縣道のほゞりにある巖で昔歌聖柿本人麿卿が石見高津から各地へ往復の途中此處に寄られたとの由緒のある地。

此の地より見れば前方須佐浦町を眼下にして沖の方雄島に對してゐる高嶺に法隆寺があるその側方に建てられた日本海海戦の標

金瀨崎



金瀨崎



此の地より見れば前方須佐浦町を眼下にして沖の方雄島に對してゐる高嶺に法隆寺があるその側方に建てられた日本海海戦の標



以上だき歎稱された地で岩質複雑で石脈の光彩千態萬狀で、島上古雅な岩林が、  
 罅に瑞峯神山は空に聳えて後を彩り呼べば答へん雄島眼前に横はり眼を轉ずれば  
 海上模倣として水平線上に臥す見島も自ら視界に入る、海上一度風伯怒れば  
 狂瀾激突の壯觀を演ずれども波靜かなる夕、夕陽金瀾を描き、實に變幻の妙趣  
 を現はし灣内外の異景を伴出し得る絶景地とも云へる此處は陸からも行くこ  
 が出来るので探勝者の便利である。前方に見える神山は海拔一千八百尺、海中  
 が突出する山として日本海稀で此の絶頂からは東は出雲日之御崎から西は大  
 津郡向津具岬、南は徳佐ヶ峯など望まれ雄大無限の眺めである。頂上には風穴  
 磁鐵礦、真石材其他地質學上の好資料もあり、古蹟としては山腹に神山神社を  
 始め宇治川の先陣に偉名を轟かした佐々木高綱の名馬池を出したと傳へらる  
 牧場もある。尙ほ中腹には禪宗瑞林寺及其境内に航海者の守護神「黃帝社」も祀  
 られてあり遠近の來拜者多く眞に瑞峯とも云ふべきである。

**雄島** 俗稱「須佐の入江の天神島」は地から生えたか「浮島か」にある如く天神  
 島とも云ひ大小島數四十八あるさてイロハ島とも云ふ、元一つの島であつたも  
 のが波濤に蝕されてかくは分離したと云ふ。島中には或は洞門あり平坦なる廣  
 場あり、貝類を始め海藻も豊にして好遊覽場である、學術研究上貴重なセル  
 も見る事出来る。

**長磯** 陸続きで白砂長く海も浅く貝採り、魚釣のみでなく又海水浴にも適  
 して居る。

**海士ヶ地** (蛭ヶ地) 十二景蛭ヶ地の歸帆で知らる。

**煙瀨** 恰も湖水の入江で「煙瀨の秋月」は十二景の一、この海邊を離る四五  
 丁の山腹には三善清行の第三子淨藏大徳の遺跡がある。

**聖青浦** 老松岸邊に並び海水浴場で其の突端は魚釣、貝採によし。

**聖巖** 紀念碑——鮑の養殖場

須佐川河口、萩に通ずる縣道のほゞりにある巖で昔歌聖柿本人麿卿が石見高津  
 から各地へ往復の途中此處に寄られたとの由緒のある地。

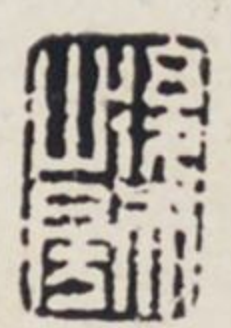
- 陸巡り** 本勝景を極めんとする探勝者には、以上の通り海巡りも  
 よいが然し陸巡りも出来る、驛前水海から北進して高山の中腹を経  
 沖浦に達する里道によるものと、須佐港橋(市街須佐川下流)から萩  
 縣道を西進して一旦煙瀨に至りこれより更に小路によつて深煙瀨、  
 金瀾崎に至るものと二大巡路である。
- △須佐灣四季案内**
- 一、春 櫻狩(久原波止場)磯若菜、海苔、もづく、わかめ刈り、  
 目張釣り、貝拾ひ、うに採り
  - 一、夏 海水浴、納涼、流水、蛤掘り、サマエ、螺螺採り、赤魚釣り、鱈  
 釣り、鳥賊引き、夜さそ
  - 一、秋 観月、沙千狩、もつ釣り、雑魚釣り、投網
  - 一、冬 観雪、群鷗、千鳥、白浪、ちわ釣り、くろや釣り

山口縣阿武郡須佐町一九九番屋敷  
 岩本 彌左衛門  
 大坂市西區江戶地通三丁目一番地  
 西村 重太郎  
 山口縣阿武郡須佐町  
 岩本 欣榮堂

昭和三年三月二十五日印刷  
 昭和三年四月一日發行

# 山靈水秀

北海題



須佐灣景



